

区分・種別	県指定名勝		
名称	きんざんしゅっせきじ 金山出石寺		
所在地	大洲市豊茂		
所有者	出石寺	管理団体	
指定年月日	昭和26年11月27日		
解説	<p>標高820m、出石山頂の出石寺を中心とするこの地域は、瀬戸内海国立公園に属する名勝地である。山頂からは遠く伊予灘を隔てて遥か中国・九州路を望み、背後には石鎚山をはじめ大野ヶ原、鬼ヶ城などの四国連山を一望することができる。また、早朝の雲海から昇る朝日の眺望等、四季折々の変化に富む景観は実に素晴らしい。</p> <p>頂上の金山出石寺は真言宗御室派別格本山として1300年の法灯を伝える名刹で、県内はもとより九州、中国にも多くの信者があり、年中参拝客の途切れることなく、殊に縁日には大勢の参拝客で賑わう。</p> <p>また、境内の南側と北側には原生林が残っていて、根回り11mのカツラをはじめ、アカガシ、スギ、ケヤキ、タブノキ等の巨木・老木が茂っている。更に下層にはクマザサ(チュウゴクザサ)、ミョウガの群落に混じってシコクカッコソウ、ホクチアザミ、モミジガサ、オタカラコウ、ハガクレツリフネ、ヤマルリソウ等、多くの草木類が見られ、植生上貴重で興味深いものがある。</p>		

